



ケーススタディ：ハウス食品

資料編 《カレー事業の沿革》

大正 2 年 (1913 年)	創業者浦上靖介（うらかみ せいすけ）、大阪市松屋町筋に薬種化学原料店「浦上商店」を創業。
大正 15 年 (1926 年)	「ホームカレー」の稲田商店を吸収し、布施市（現、東大阪市）御厨の工場で即席カレー（ホームカレー）の製造をはじめめる。 
昭和 3 年 (1928 年)	「ホームカレー」を「ハウスカレー」と改称。
昭和 22 年 (1947 年)	株式会社組織に改め、社名を「株式会社浦上糧食工業所」とする。
昭和 24 年 (1949 年)	社名を「株式会社ハウスカレー浦上商店」と改める。 
昭和 29 年 (1954 年)	東京に営業所を設置（現、東京支店）。
昭和 35 年 (1960 年)	社名を「ハウス食品工業株式会社」と改める。 初めての固形ルウタイプカレー「印度カレー」を発売。 
昭和 38 年 (1963 年)	「バーモントカレー」を発売。テレビ CM にも登場し、爆発的ヒット商品となる。 
昭和 43 年 (1968 年)	大阪に営業所を設置（現、大阪支店）。 「ジャワカレー」を発売。
昭和 46 年 (1971 年)	ハウス食品初のレトルトカレー「ククレカレー」を発売。
昭和 55 年 (1980 年)	“楽しい家庭料理の世界をひろげるハウス食品”を新しいスローガンに、社のマーク及びロゴタイプを一新。売上高 1,000 億円突破。 

昭和 58 年 (1983 年)	「カレーマルシェ」を発売。	
平成 5 年 (1993 年)	社名を「ハウス食品株式会社」と改める。 東京本社、大阪本社の 2 本社体制に。 “知恵ある暮らしをデザインする”を新しいコーポレートメッセージとする。	
平成 8 年 (1996 年)	「こくまるカレー」を発売。	
平成 11 年 (1999 年)	「カリー屋カレー」を発売。	
平成 16 年 (2004 年)	創業 90 周年を機に”おいしさとやすらぎを”を新しいコーポレートメッセージとする。	
平成 18 年 (2006 年)	「北海道ホワイトカレー」発売。 「プライムバーモントカレー」「プライムジャワカレー」発売。	
平成 19 年 (2007 年)	厚生労働省より「次世代認定マーク（愛称：くるみん）」取得。 国際宇宙ステーション（ISS）に滞在する宇宙飛行士へ供給するために開発した、レトルトビーフカレー、レトルトポークカレー、レトルトチキンカレーが、宇宙航空研究開発機構（JAXA）により「宇宙日本食」として認証される。 映画「ALWAYS 続・三丁目の夕日」とタイアップし、「即席ハウスカレー<昭和復刻版>」等を発売。	 
平成 21 年 (2009 年)	「めざめるカラダ朝カレー」を発売。	
平成 24 年 (2012 年)	「ザ・ホテル・カレー」を発売。	
平成 25 年 (2013 年)	持株会社体制へ移行。 健康食品事業を、ハウスウェルネスフーズ株式会社へ移管。	

資料番号：戦略 B-3-2

ハウス食品株式会社

<http://housefoods.jp/company/information/history.html>